

2016（平成28）年度 事業報告

当財団は、平成26年4月に公益財団法人へ移行するとともに、基幹事業であるピースおおさかについて、開館以降初の常設展示の抜本的なリニューアルを実施し、戦後70年目となる平成27年4月に「大阪空襲を語り継ぐ平和ミュージアム」としてリニューアルオープンした。新たな展示には多くの方が好感を持ってくださっており、今年度においては、これを背景に、館の認知度を一層高めるとともに、常設展示を核とした事業活動の基盤を確立するよう諸事業の実施に努め、昨年11月には来館者200万人を達成するとともに、リニューアル以降14万人以上の方にご来館いただいた。

また、「中期経営計画」の2年度目にあたり、リニューアルした常設展示を核として、「戦争の悲惨さ・平和の尊さを次の世代に伝える」という法人のミッションを継続的・安定的に果たすとともに、利用者増を最重要目標として事業展開を図った。

なお、引き続き行政の支援を受けながらも自主財源の確保に努めるとともに、これまでに蓄積してきた所蔵資料の活用や関係機関などとの協力・連携を深めながら、創意工夫により魅力ある特別展や企画事業等を実施した。

1. 展示事業

(1) 常設展示等

2階展示室

Aゾーン：昭和20年、大阪は焼き尽くされた

Bゾーン：世界中が戦争をしていた時代

Cゾーン：戦時下の大阪の暮らし

スロープ

空襲体験者の「証言と体験画の回廊」

1階展示室

Dゾーン：多くの犠牲を出し、焼け野原になった大阪

3階展示室

Eゾーン：たくましく生きる大阪

Fゾーン：私たちの未来をつくっていくために

映像コーナー

図書室

映画の定時上映（講堂）

(2) 特別展示

所蔵資料の活用や関係機関・団体の協力を得ながら、工夫して実施した。

① 「学童疎開と子どもたち」

〈趣 旨〉 戦争末期の1944（昭和19）年、都市への空襲が激しくなってきたため、子どもたちは地方へ疎開した。親戚などの身寄りのある子どもは縁故疎開を、そうでない子どもは教師や寮母に引率され地方へ集団疎開をした。

今回の特別展では、収蔵品（家族との手紙や写真など）を通して、当時の子どもたちの姿などをより詳しく伝え、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会とした。

〈期 間〉 2016(平成28)年1月29日(金)～7月10日(日)
〈内 容〉 収蔵品(実物、写真など)約50点
〈参加者〉 29,903名

② 「戦時中の手紙～文字から伝わる人びとの思い～」

〈趣 旨〉 手紙は、当時を生きた人びとの生活や心情を伝える貴重なものである。戦時中、出征した兵士とその家族は、手紙によって近況を伝えることで無事を確認し合った。時には兵士の戦死を伝えるものもあった。

今回の特別展では、出征兵士、家族、友人に宛てた手紙、戦死を知らせる手紙、子どもたちから兵士への慰問など、手紙を中心に展示した。これらの手紙等を通して、当時の人びとの思いを伝えた。

〈期 間〉 2016(平成28)年7月26日(火)～12月27日(火)
〈内 容〉 収蔵品 約50点
〈参加者〉 36,924名

③ 「絵でみる戦争体験～早野朝子さんの終戦・占領・引揚～」

〈趣 旨〉 早野朝子さんは咸興（かんこう・現朝鮮民主主義人民共和国）で生まれ育ち、終戦も現地で迎えた。その後、ソ連軍進駐下ではソ連兵の恐怖に怯えながら過ごし、厳しい冬では寒さと飢えに耐えた。1946(昭和21)年春になって母と妹弟とともに咸興を去り、38度線を越え、日本へ引揚げた。

今回の特別展では、早野さんが描いたその記録体験画や引揚に関連した実物資料を展示した。体験画から読み取れる咸興での暮らし、終戦後の苦労や引揚の過酷さを通して、戦争の悲惨さや平和の尊さを考える機会とした。

〈期 間〉 2017(平成29)年1月24日(火)～3月30日(木)
〈内 容〉 体験画 約80点、関連実物資料
〈参加者〉 9,770名

(3) その他の展示

① 講堂

『平和』をテーマにした子ども絵画（大阪府の戦後70年事業によるもの）

② 講堂前ホール

いのちへのメッセージ

(4) ワークショップスペース(3F)の有効活用

学校と連携した平和学習に関する資料の展示など有効活用を図った。

2. 企画事業

(1) 平和祈念事業

8・15 終戦の日、12・8 開戦の日、3・13 大阪大空襲の日など節目の時期に、戦争の悲惨さと平和の尊さについて考える機会として開催した。

① 終戦の日平和祈念事業

<実施日> 8月7日(日) 午後1時30分～午後4時

「講演会と歌で検証する戦争と平和」

・内容

ナビゲーター もず唱平（作詞家・ピースおおさか特別顧問）

第1部 講演会「71年前の夏休み」

講演者：成瀬國晴氏（イラストレーター）

第2部 歌

歌：高橋樺子氏

ピアノ：田中裕子氏

・参加者 183名

<実施日> 8月15日(月) 午後2時～午後3時30分

「戦争犠牲者追悼式と平和コンサート」

・内容

協力：学校法人 相愛学園

平和コンサート

相愛高等学校音楽科および相愛中学校音楽科進学コース生徒による合唱

相愛大学音楽学部による弦楽四重奏

菊一輪 献花

昇鶴祭

・参加者 231名

②開館の日平和祈念事業

＜実施日＞ 9月18日(日) 午後1時30分～午後4時

「戦争で家も家族も失った… 一戦後を生きぬいた戦災孤児たち」

・内容

第1部 映画解説と体験講話

解説：片山忠昭氏

体験者：荒木準一郎氏

第2部 映画上映「蜂の巣の子供たち」

・参加者 117名

③開戦の日平和祈念事業

＜実施日＞ 12月4日(日) 午後1時30分～午後3時30分

「ピースシネマスペシャルデイ ～クリスマスと戦争～」

・内容

映画上映「戦場のアリア」

・参加者 152名

④大阪大空襲平和祈念事業

＜実施日＞ 3月12日(日) 午後1時30分～午後2時

「幻の卒業式」

・卒業証書受領者 7名

＜実施日＞ 3月12日(日) 午後2時～午後4時

「『語り継ぎ部』育成のための講演会 「帰郷」そして「蒼海のホタル」へ
—戦争の悲劇を伝える映像劇 徳島県鳴門市第一中学校生徒会の試み—」

・内容

講演：反田卓氏(徳島県鳴門市第一中学校教諭)

映像劇：「帰郷」(34分)、「蒼海のホタル」(43分)

・参加者 91名

(2)教員のための平和学習講座(大阪府教職員自主研修支援事業)

・日時 8月3日(水) 午前10時～午後4時

・内容 講義とフィールドワーク(館内、大阪城周辺の戦跡)

・参加者 34名(中学14、小15、支援4、私立1)

(3)戦跡ウォーク

・日時 毎月第2日曜日(8、9、12、1、3月除く)

・内容 館内見学、大阪城周辺の戦跡を巡るコース(中回り・東回り・西回り)

・参加者 87名

(4)ウィークエンド・シネマ

- ・日 時 毎週土曜日 午後2時～
- ・内 容 所蔵視聴覚資料(ビデオ・DVD・16ミリ)を上映
- ・参加者 2,741名

(5) 親子まつり

① ゴールデンウィーク

- ・日 時 5月1日(日)～5月5日(木) 午後2時～
- ・内 容 「ちいちゃんのかげおくり」等の上映
- ・参加者 53名

② 夏休み

- ・日 時 7月26日(火)～8月26日(金) 午後2時～
- ・内 容 「おかあちゃんごめんね」等の上映
- ・参加者 345名

③ 冬休み

- ・日 時 12月22日(木)～1月8日(日) 午後2時～
- ・内 容 「あした元気にな～れ!～半分のさつまいも～」等の上映
- ・参加者 90名

④ 春休み

- ・日 時 3月28日(火)～4月5日(水) 午後2時～
- ・内 容 「野坂昭如戦争童話集 青いオウムと痩せた男の子の話」等の上映
- ・参加者 53名

(6)平和紙芝居

- ・日 時 第1・2木曜日 午前10時～午前10時20分
第3・4金曜日 午前10時～午前10時20分
- ・参加者 1,166名

(7)府政学習会・ピースおおさか見学会「平和について学ぶ」

(大阪府府政情報室との連携事業)

- ・参加団体 1団体
- ・参加者 101名

(8)生きた建築ミュージアムフェスティバル大阪 2016

(大阪市都市整備局企画部住宅政策課事業への協力)

- ・日 時 11月5日(土)、6日(日) 午前10時～、午後2時～

- ・内 容 ガイドツアー（館内および屋上見学）
- ・参加者 30名

3. 出前事業

(1) 展示

① 御津八幡宮夏祭り

- ・日 時：7月14日(木)～15日(金)
- ・場 所：御津八幡宮
- ・内 容：パネル展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：15,840名

② 大阪市立平野図書館

- ・日 時：8月5日(金)～30日(水)
- ・場 所：大阪市立平野図書館
- ・内 容：パネル展示
- ・参加者：11,589名

③ World EXPO 2016（大阪青年会議所主催）

- ・日 時：9月3日(土)
- ・場 所：グランフロント大阪
- ・内 容：パネル展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：1,540名

④ 大阪府立中央図書館

- ・日 時：12月4日(日)～12月16日(金)
- ・場 所：大阪府立中央図書館
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布、PRビデオ上映等
- ・参加者：18,697名

⑤ イオンモール

- ・日 時：1月18日(水)～1月24日(火)
- ・場 所：イオンモール 鶴見緑地
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布、PRビデオ上映等
- ・参加者：176,817名

⑥ 大阪市立中央図書館

- ・日 時：2月3日(金)～2月15日(水)
- ・場 所：大阪市立中央図書館（西区）
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：55,000名

⑦ 大阪市立阿倍野図書館

- ・日 時：2月17日(金)～4月19日(水)
- ・場 所：大阪市立阿倍野図書館
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：48,919名

⑧ 大阪市立浪速図書館

- ・日 時：2月17日（金）～4月19日（水）
- ・場 所：大阪市立浪速図書館
- ・内 容：パネル・実物資料展示、パンフレットの配布等
- ・参加者：12,396名

(2) 「語り部」の派遣（紹介）による戦争記憶の伝承

学校等からの「語り部」の派遣依頼に対し、関係団体（大阪戦災傷患者・遺族の会、大阪大空襲の体験を語る会、国民学校と学童疎開を考える会）の協力を得て、「語り部」の紹介を行った。

登録協力団体：3団体（大阪戦災傷患者・遺族の会、大阪大空襲の体験を語る会、国民学校と学童疎開を考える会）

- ・参加者：7,373名

4. 大阪空襲死没者を追悼し平和を祈念する場の運営

大阪空襲死没者の追悼及び恒久平和を祈念するため、2005(平成17)年度に整備した「刻の庭」の管理運営を行うとともに、大阪空襲死没者名簿の管理、新規登載申出の受付等を行った。

(1) 空襲死没者名簿（原簿）の管理

- ・追加登載者数 2名
- ・名簿の訂正 1名
- ・登載者数計 9,079名（平成29年3月31日現在）
（内訳）公開9,033名※、非公開46名
※刻の庭前で公開。

5. 資料の収集・提供

(1) 資料の収集・提供

- ・「図書類及び物品類の管理等の基準」に基づき、実物資料、視聴覚資料、図書資料の適切な収集と管理に努めるとともに、展示への利活用を図った。
- ・「収蔵品管理システム」により、これらの資料の整理、保存、公開を行った。
- ・空襲等体験者からの証言の収集

《資料収集件数》

	寄贈資料	購入資料
実物資料	60	0
視聴覚資料	43	45
文書資料	27	0
図書資料	94	11
計	224点	56点

【平成 26・27 年度】（参考）

	寄贈資料	購入資料
26 年度	244 点	4 点
27 年度	177 点	17 点

「2017（平成 29）年 3 月末」の資料収集件数（収蔵検索システム登録件数）

- ・物品 9,474 点
（実物 3,925 点、文書 1,672 点、視聴覚 3,852 点、その他 25 点）
- ・図書 33,591 点
- 合計 43,065 点

(2) 平和学習資料の貸出し

- ・学校、官公署、市民団体等の要請に応じ平和学習用資料(写真パネル、空襲体験画、ビデオ、DVD、16 ミリフィルム等)を貸し出すとともに、事業の広報に努めた。

	小学校	中学校	高 校	自治体	その他	計	利用人数※
写真パネル(体験画含む)	17	5	2	30	19	73	/
実 物 資 料	4	2	0	2	3	11	
16 ミリ (アニメ)	0	1	0	0	0	1	
16 ミリ (ドキュメント)	0	0	0	0	0	0	
ビ デ オ	15	17	1	5	6	44	
D V D	131	67	8	28	45	279	
紙 芝 居	4	0	0	0	4	8	
合 計	171	92	11	65	77	416	

【利用人数】118,962 名

（参考）26 年度利用人数 120,422 名、27 年度利用人数 247,835 名

6. 広報・啓発

(1) ホームページの運営

「ピースおおさかホームページ」により施設利用案内や事業広報等の情報提供を行うとともに、より有効な広報ツールとなるよう適宜改良を行った。

- ・アクセス数：76,760 回（内、日本は 72,206 回）

(2) 印刷物の作成・配布

- ①リーフレット「展示のしおり」
- ②「展示の手引き」の改訂
- ③館報「ピースおおさか」発行

(3) 学校等に対する多様な媒体を活用した広報

- ・見学案内や広報チラシ等の配布。
- ・「展示の手引き」の無料配布。
- ・ピースおおさか PR 動画「もずやんの大阪ひとつとび！ ピースおおさかに行ってきたで！」の作成、DVD 配布。

7. オリジナルグッズの制作、販売、管理等

(1) 「展示の手引き」の改訂（再掲）

展示リニューアルを踏まえ、展示アドバイザー委員の指導助言等を得ながら、「展示の手引」の改訂を行った。

(2) グッズ制作の検討

新たな魅力あるミュージアムグッズの制作について検討を行った。

8. 自主財源（平和寄金）の確保、「友の会」会員の拡大

- ・寄附に係る税の優遇措置を広く PR するとともに、平和祈念事業開催時等の機会において平和寄金の趣旨（企画事業・特別展示等の原資）を説明し、協力を求めた。また、「友の会」の募集案内を配付するなど、会員の拡大に努めた。

《「ピースおおさか友の会」入会状況》

- ・個人会員：72 名
- ・団体会員：7 団体（16 口）

9. 施設の保全・補修

- ・長期的視点に立った長期修繕計画に基づき、施設修繕計画を策定し、修繕計画の実施に必要な予算措置を府市に要請するとともに、緊急対応が必要な施設補修工事を適宜行った。